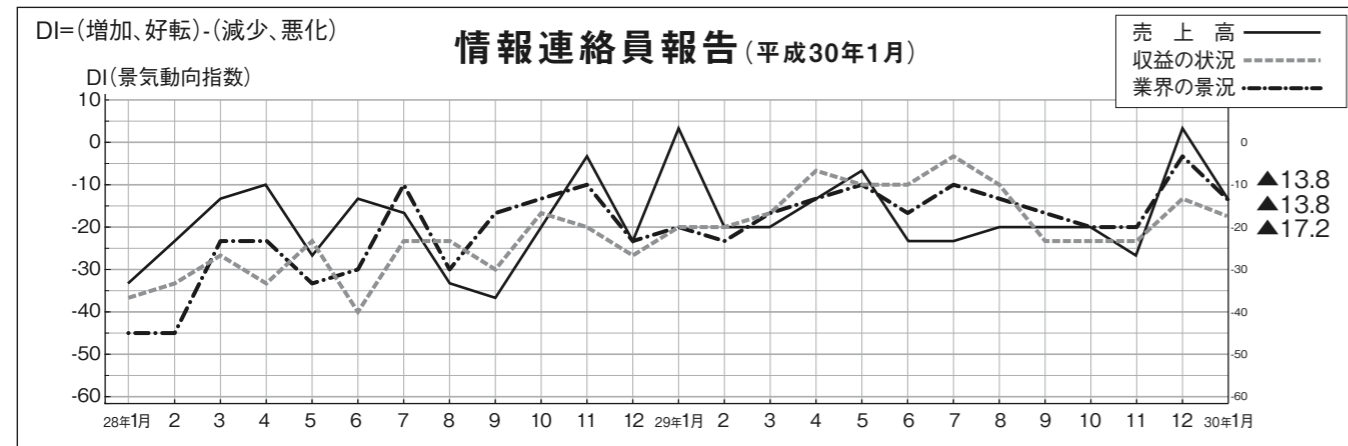


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向

## 2018年1月(前年同月比)



業界の状況

☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☔️...やや悪化 ☔️...悪化

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>食品団地</b></p> <p>1月度の商況は平年並み。食品表示が改正され包装資材の改善準備に入ったが、特に原材料の原産国表示が問題点となっている。また運賃値上げで首都圏等県外への輸送コスト上昇が負担になっている。</p> | <p><b>生コンクリート製造</b></p> <p>出荷数量は前年同月比78.3%で大幅落ち込み。</p>  |
| <p><b>酒類製造</b></p> <p>県外出荷は好調増加。県内の減少が大きく、業者毎のバラツキが目立つ。</p>   | <p><b>コンクリート製品</b></p> <p>出荷数量は前年同月比65%、市況は減少状況が続いている。</p>                                      |
| <p><b>水産食料品製造</b></p> <p>鯉節業界は不漁による高値安定状況が続き県内の販売も厳しい状況。みりん干し業界は入航船の減少で様々な魚種が仕入れられなくなり、商品が限定されるようになった。</p>            | <p><b>機械団地</b></p> <p>1月は単発の受注増等により前年比で売上や収益を伸ばす企業が増加したが、団地内の景況に特段の変化は見られない。</p>                |
| <p><b>木製品素材生産</b></p> <p>山間部の積雪によりスギ、ヒノキともに量は2割減。価格はともに5%程度上昇となった。</p>  | <p><b>刃物製造</b></p> <p>売上が上がっているのは努力結果であるが、相変わらず商品供給が追い付いていない。育成施設の整備を早急にして技術伝承による職人育成が望まれる。</p> |
| <p><b>製材</b></p> <p>新年と雪の影響で原木が不足し、値上がり状態で製品も不足気味であるが値上がりまでには至っていない。</p>  | <p><b>船舶製造</b></p> <p>受注残等の消化にて操業度は高水準。</p>   |
| <p><b>製紙</b></p> <p>PULP価格の急激な値上げに加え、エネルギー源である重油、運賃、資材関係の値上がりで収益面に悪影響が出始めている。大手家庭紙メーカーの値上げに期待する。</p>                  | <p><b>珊瑚装飾品製造</b></p> <p>1月度製品会取引高は、前年度同月比59%であった。昨年よりここ4か月ほど取引高が低迷している。</p>                    |
| <p><b>印刷</b></p> <p>県内需要は官公需及び民需共に前年並み。県外需要は一部業種が低調に推移し、全体では若干前年を下回った。</p>  | <p><b>卸団地</b></p> <p>毎月1月の外食産業は、成人式以降閑散期となり落ち着くが、寒さが影響しているのか今年は特に動きが悪い。</p>                     |

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>青果卸売</b></p> <p>野菜は多少の入荷減であったが12月に引き続き大幅に高い平均キロ単価で推移。果実は大幅な入荷減であったが平均キロ単価は前年同月比100%程度であった。</p>                          | <p><b>商店街(四万十市)</b></p> <p>売上等前年度とほぼ同等と思われる。四万十市では銀行跡地の活用や市民文化センターの移転等、大事な年になると思われる。商店街としてもその動きをどう活性化に繋げるかが重要と考えて、この流れを追い風としたい。</p>        |
| <p><b>生鮮魚介卸売</b></p> <p>天候不順(強風)のため小物の入荷量は少なく、カツオの入荷も少ない。</p>   | <p><b>旅館・ホテル</b></p> <p>昨秋県外資本の大型ホテルが開業し、稼働率が下がった。例年ない厳冬の影響もあり全体的に動きが悪い。また慢性的な人手不足が深刻である。</p>  |
| <p><b>各種小売(土佐市)</b></p> <p>年始も特に売上が伸びることもなく、昔のような忙しさはなくなり、小売店の厳しい状況は変わらない。</p>  | <p><b>旅行業</b></p> <p>組合クーポン売上は前年同月比61%。2月の全国大会開催に伴い、昨年度並みの年間売り上げを見込んでいる。</p>   |
| <p><b>ガソリンスタンド</b></p> <p>原油価格は年末年始を通じて上昇し、1月下旬は上昇が一段落、元売り仕切価格は6週ぶりに前週比据え置きとなった。遅れていた本県の転嫁値上げは、1月下旬に実施された。</p>                | <p><b>一般土木建築工事</b></p> <p>平成30年1月分の公共土木生コン出荷量は前月比108.6%、前年同月比67.8%。平成29年4月~30年1月の累計は前年比80.0%と落ち込んでいる。防波堤工事など大型工事や耐震・防災関連工事は引き続き発生している。</p> |
| <p><b>電気機械器具小売</b></p> <p>1月度は全体で101.5%、暖房エアコンは前年比103%と好調。特に白物家電の中で全自動洗濯機は前年比105%。</p>  | <p><b>電気工事</b></p> <p>組合員施工の電力引込線関連の工事量は、前年同月比101%。前月に引き続き昨年の減少分の回復に至らず、平年水準への回復に期待したい。</p>  |
| <p><b>中古自動車小売</b></p> <p>あまり変化なく推移。</p>   | <p><b>一般貨物自動車運送</b></p> <p>新年に入っても物量は変わらず低迷したままで、燃料価格は思ったより上昇幅大きく収益を圧迫することとなった。2月以降も燃料価格には注意が必要。</p>                                       |
| <p><b>商店街(安芸市)</b></p> <p>年末大売出しが終わり、平常の人通りに戻ったかと思われる。ここ数年で閉店する店舗があり、空き店舗数も増えてきており、今後人の流れが減るのではないかと心配される。</p>                 | <p><b>タクシー</b></p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:99%、輸送回数:97.2%。当月の実働率は70.6%。</p>  |
| <p><b>商店街(高知市)</b></p> <p>中央公園地下駐車場利用状況は前年比売上114.3%、利用台数109.2%。前半は天候にも恵まれ、昨年以上の来街者で賑わった。しかし後半は寒波とインフルエンザの流行で若干客足が鈍った感がある。</p> |  |

# 挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company

TOKIO MARINE NICHIDO 東京海上日動

